



学校だより ながや

「自分のリーダーを働かせる」

校長 神田 敏之

本校では「自分で考えて、判断して行動する」ということを大切に日頃の指導に当たっています。そのことを簡単に表した言葉が「自分のリーダー」です。

一般的に「リーダー」と聞くと集団を引っ張っていく人、一部の積極的な人が担う役割というイメージでしょうか。これは私たちが考える「みんなのリーダー」に当たります。

「自分のリーダー」は、自分にした約束を守っていかうとするリーダーです。「ここがうまくいかなかったから、次はこうしよう」と考えることがあります。例えば、「朝起きられないから、早く寝よう」ということです。このときに早く寝るために、次の日の支度や宿題を夕食前に済ませてしまおうと考えます。しようとしたときに、テレビを見たりゲームをしたりという誘惑に負けずに、自分で決めたことを実行する力です。始めは意識して行っていることも、だんだんと意識せずに自分の生活リズムに組み込まれていきます。この積み重ねがよりよく人生を送るということにつながっていきます。

昨日新しい6年生が集まり、入学式と新年度の準備をしました。活動が終わって集まった時に、私から「自分のリーダー」の話をしました。

『例えば、自分の分担された場所をきれいにするという役割に加え、よごれに気付いたところも一緒にきれいに掃除をするということが自分のリーダーを働かせることにつながります。このように考えて役割ができ

子どもたちの様子についてホームページを活用してお知らせします。月1回程度を予定していますので、「学校日記」等のページをご覧ください。

学校ホームページ

QRコード



たか振り返ってみましょう。そして6年生として1年間いろいろなところで役割があります。その時に自分のリーダーを働かせていきましょう。』

準備の一日を過ごし、6年生としての自覚が感じられました。この気持ちを大切に、学校を支える6年生になってほしいと思っています。

明日の入学式では、地域の代表として学校運営協議会と学援隊の方にも参加をしていただきます。学校長の話の中であいさつをすることの大切さを話します。学校の中だけでなく、登下校の際に安全を見守ってくださっている学援隊の方や、保護者の方へ挨拶をするように話します。ご家庭でも安全を見守ってくださる方に挨拶をしっかりとできるようにお声掛けをお願いします。この挨拶が活動をしてくださっている方のやりがいにつながります。

保護者と教職員は一緒に子どもを育てるパートナーです。同じ姿勢で指導をできるように、お互いの情報を交換し合える関係を築き、よい方向に子どもを導いていきたいと思っています。どうぞご協力のほど、よろしくお願いたします。